

---

2021年度 通期業績

# 決算説明資料

---

先生と患者さんに喜ばれたい



2022年2月10日

2021年度 通期業績

■業績概要	4
■事業別売上高・総利益	5
■各事業の構成比と成長率	6
■通信販売事業の売上高・総利益	7
■その他の事業の売上高・総利益	8
■販売費及び一般管理費	9
■貸借対照表	10
■キャッシュフローの状況	11
■設備投資・減価償却費	12

2022年度 通期業績予想

■通期業績予想	14
■年間配当（予想）	16
■補足資料	17

## 注記事項

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

---

---

# 2021年度 通期業績

---

---

(単位：億円)

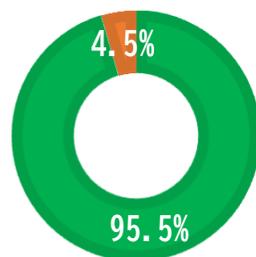
	2020年度	売上 構成比	2021年度	売上 構成比	増減	
					金額	前年比
売上高	373.9	100.0%	412.1	100.0%	38.1	110.2%
総利益	112.9	30.2%	116.1	28.2%	3.1	102.8%
営業利益	47.0	12.6%	45.2	11.0%	-1.8	96.2%
経常利益	47.7	12.8%	46.1	11.2%	-1.7	96.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	29.2	7.8%	28.2	6.8%	-1.0	96.6%
1株当たり 当期純利益	292.09円	—	282.09円			

(単位：億円)

		2020年度	2021年度	増減	
				金額	前年比
通信販売事業	売上高	358.7	393.3	34.7	109.7%
	総利益	104.8	105.6	0.8	100.7%
	通販事業の総利益率	29.2%	26.8%	—	—
その他の事業	売上高	15.3	18.7	3.4	122.5%
	総利益	8.2	10.5	2.3	128.7%
	その他事業総利益率	53.4%	56.1%	—	—

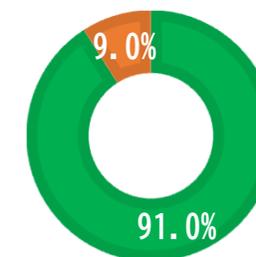
## 売上高

■通信販売事業 ■その他事業



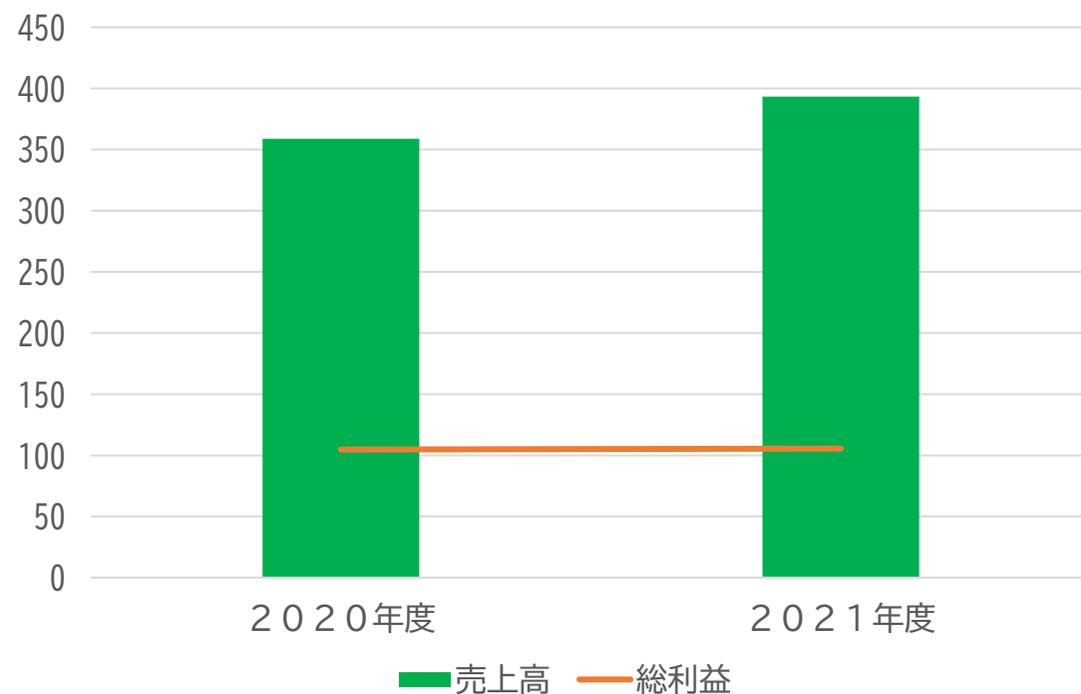
## 総利益

■通信販売事業 ■その他事業



		構成比	前年比
通信販売事業	歯科関連	82.4%	109.5%
	介護施設	5.3%	117.1%
	動物病院	1.9%	122.7%
	医科	2.9%	105.3%
	メディカルウェア	1.4%	134.6%
	理美容・エステサロン	0.3%	172.3%
	調剤薬局向け	0.7%	59.7%
	幼稚園・保育園	0.5%	234.3%
	一般個人向け	5.5%	123.4%
その他の事業	CADCAM関連	3.4%	120.8%
	電力小売取次	0.7%	122.3%

## 通信販売事業



### ■売上高 393.3億円 (前年同期比 109.7%)

- ・前年に引き続き、主力の歯科医院向け通信販売を中心に、感染対策商品の需要拡大により販売が増加し、個人医院・総合病院等の医科業界向け、ならびに福祉介護施設向け販売も拡大。
- ・新規取引先に対して継続的に取引をいただくためのセールを実施したことにより売上が伸長。しかし、ロジスティクスセンターの出荷能力が不足をきたし外部倉庫の手配等も順調に進まず、出荷作業並びに配送の遅延が発生。そうした中、第3四半期連結会計期間にロジスティクスセンターの人員強化及びシステム・マテハンの一部改修を実施、更なる売上拡大を図る。
- ・また、将来的には現在計画中の新物流センターの建設により、更なる出荷能力の増強を予定。(P16参照)
- ・WEBセミナーの活用により大型医療機器の販売が好調。商品ラインナップに歯科用ユニットを追加したこと及び、新型コロナウイルス新規感染者数の落ち着きにより今まで慎重だった新規開業への意欲が強まりつつあること等で大型医療機器を含む「開業セット」販売が好調。
- ・個人向けのオーラルケア商品通販サービスも順調に推移。
- ・調剤薬局向けは、ジェネリック医薬品メーカーの相次ぐ自主回収の発生の影響により、商品の欠品が相次ぎ低調に推移。

### ■総利益 105.6億円 (前年同期比 100.7%)

- ・1Qは、前期20周年セール実施の為総利益率が低下したが、今年度は回復した。ただし2Q以降は、感染対策商品の市場販売価格が落ち着いたことにより、累計で総利益率は微減。
- ・総利益率の高い大型医療機器の販売が好調。

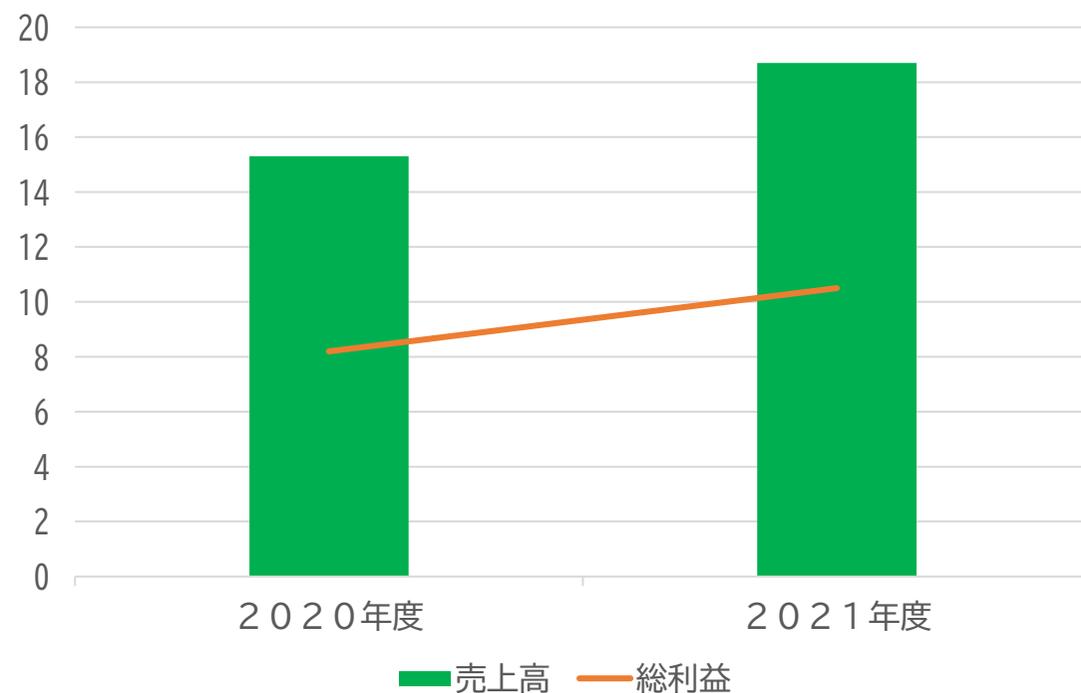
(単位：億円)

	2020年度	2021年度	増減	
			金額	前年比
歯科関連 ※1	310.0	339.4	29.5	109.5%
歯科関連以外 ※2	48.7	53.9	5.2	110.7%

※1 レントゲン、CT等の大型機器販売を含む

※2 主な販売先は、介護・福祉施設、病院・一般診療所、動物病院、調剤薬局、幼稚園・保育所、理美容など

## その他の事業



### ■売上高 18.7億円 (前年同期比 122.5%)

- ・技工用機器・システム販売は2020年9月のCAD/CAM冠保険適用拡大の影響によりCAD/CAM冠やジルコニアクラウンの需要が高まり、CAD/CAM加工機及び口腔内スキャナ販売が堅調に推移。
- ・技工物製造は、昨年新型コロナウイルス感染拡大の影響により低迷した高齢者向け義歯需要が回復した。その他、透明マウスピース型矯正「シースルーアライナー」の受注が増加。

### ■総利益 10.5億円 (前年同期比 128.7%)

- ・上記のCAD/CAM技工用機器・システム販売に関して口腔内スキャナ販売が堅調に推移したことにより総利益率は昨年比で増加。
- ・電力小売取次事業は順調に契約数が増加。

(単位：億円)

	2020年度	2021年度	増減	
			金額	前年比
CAD/CAM関連事業 ※1 (技工用機器・システム販売、技工物製造)	11.4	13.8	2.4	120.8%
電力小売取次 ※2	2.3	2.8	0.5	122.3%

※1 CAD/CAM：コンピューターを使って、製品の設計・製造をするためのシステム、computer-aided design/computer-aided manufacturingの略。製品を設計し製図を行うCADと、製品を製造・成形・加工するCAMと組み合わせたもの。歯科用CAD/CAMシステムとは、口腔内に装着される修復物や補綴物の設計及び加工に用いられる複数の装置をCADやCAM技術を用いて統合したシステムのこと。  
 ※2 電力小売取次：当社経由の売電額は40.6億円。当社は取次手数料を売上高(=総利益)に計上。

(単位：億円)

	2020年度	2021年度	増減	
			金額	前年比
給与手当	11.8	12.4	0.7	105.7%
倉庫人件費	5.4	6.0	0.6	111.1%
広告宣伝費 ※1	4.4	5.0	0.6	114.2%
荷造運賃発送費	20.6	20.6	0.1	100.3%
減価償却費 ※2	2.6	3.3	0.7	128.4%
従業員数	283	297		
臨時雇用者数	446	426		

※1 広告宣伝費 : 当社の主力顧客である歯科医院様を中心に、前連結会計年度に感染対策商品をご購入いただき新規口座を開設いただいた福祉・介護施設様及び病院・一般診療所様等に対してもセールス企画を実施。

※2 減価償却費 : 1月 基幹システム更新、6月 販売サイト改修、9月 マテハン改修が終了し、それぞれ稼働を開始したことによる減価償却費の増加。

(単位：億円)

		2020年 12月末	2021年 12月末	増減	
				金額	前年比
資産	流動資産	158.6	144.5	-14.1	91.1%
	固定資産	30.4	54.7	24.3	180.1%
	資産	189.0	199.2	10.2	105.4%
負債・純資産	流動負債	47.3	35.2	-12.2	74.3%
	固定負債	4.1	4.2	0.1	102.5%
	純資産	137.5	159.8	22.2	116.2%
負債・純資産		189.0	199.2	10.2	105.4%
自己資本		137.5	159.8	22.2	116.2%
自己資本比率		72.8%	80.2%	—	—
現預金		56.8	36.5	-20.3	64.3%
売掛債権・未収入金		37.2	38.1	0.8	102.2%
棚卸資産		55.4	61.7	6.3	111.4%
仕入債務		16.0	14.8	-1.2	92.4%
有利子負債		—	—	—	—

# キャッシュフローの状況

(単位：億円)

	2020年度	2021年度	増減
営業キャッシュ・フロー (①)	41.6	15.8	-25.8
投資キャッシュ・フロー (②) ※	-7.6	-30.5	-22.9
財務キャッシュ・フロー (③)	-1.5	-5.8	-4.3
キャッシュ・フロー合計 (①+②+③)	32.5	-20.3	-53.0
現金及び預金等の期末残高	56.8	36.5	-20.3
フリーキャッシュ・フロー (①+②)	34.0	-14.7	-48.7

※2021年度 投資キャッシュ・フロー：能美ロジスティクスセンター着手金など

▲25.2億円

(単位：億円)

	2020年度	2021年度	増減
設備投資※	4.7	30.3	25.6
減価償却費	2.7	3.3	0.7

※2021年度 主な設備投資：ソフトウェア（基幹システム・通信ウェブサイトシステム） 4.3億円  
 建設仮勘定（能美ロジスティクスセンター着手金など） 25.2億円

---

---

# 2022年度 通期業績予想

---

---

(単位：億円)

	2021年度 (実績)	2022年度 (予想)	増減	
			金額	前年比
売上高	412.1	425.5	13.4	103.3%
営業利益	45.2	44.6	-0.6	98.5%
経常利益	46.1	44.7	-1.4	97.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	28.2	28.4	0.2	100.6%
経常利益率	11.2%	10.5%		
一株当たり当期純利益	282.09円	283.81円		

- ・新規事業の幼稚園・保育園、ナース、エステ向け通販、B to C通販並びに大型機械販売、電力小売取次事業が順調に推移して売上・利益に貢献しているが、新物流センター稼働前、現有物流センターの出荷能力はほぼ限界に達しつつあり、販促活動についてセーブしなくてはならない場面を想定。
- ・倉庫作業人員確保のため人材派遣の利用を拡大している状況、作業能力・効率の問題からコストアップ要因。
- ・新型コロナウイルス感染予防商品の販売価格の正常化、円安傾向、原材料価格の高騰によるコストアップ要因もあり、2022年度について売上高は更なる成長を見込むものの、利益面では若干のマイナスとなる見込み。最終利益（当期純利益）は、2021年度は新電力事業子会社からの撤退に伴う特別損失の発生約2億円があったが、既に完全撤退しており2022年度には発生しないため若干のプラスを見込む。
- ・出荷能力が現有設備の約3.5倍の新物流センター完成（2023年半ばに稼働予定）により、出荷能力不足の解消、倉庫作業の自動化による大幅なコストダウンと作業効率の向上を図る。

## 1株当たり連結純利益および配当金

	2020年度 (実績)	⇒	2021年度 (実績)	⇒	2022年度 (予想)
1株当たり連結純利益	292.09	⇒	282.09	⇒	283.81
中間配当金	0.00	⇒	0.00	⇒	0.00
期末配当金	58.42	⇒	28.21	⇒	未定
年間配当金	58.42	⇒	28.21	⇒	未定

※2020年度（実績）には、創立20周年記念配当金（1株当たり29円21銭）を含んでおります。

**配当性向目標：連結純利益の10%**

**現時点では、配当予想額は未定です。**

## 新物流センター建設について

### 1. 背景と目的

近年の売上増加及びコロナ禍における感染対策商品・衛生用品の注文増による出荷遅延の発生により、商品保管能力及び出荷能力の強化を検討していたなか、2019年11月に経済産業省「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」の採択を受け、新物流センター建設を計画しております。

当社の新物流センター建設計画は、「補助金対象事業B（国民が健康的な生活を営む上で重要なものの生産拠点等の整備）」（補助率 約3/4）に該当します。

新物流センターの稼働により、既存の施設と比較し出荷能力が約3倍以上になる予定です。

### 2. 現在の状況

2021年11月30日開催の取締役会において、同センターを建設することについて決議いたしました。

建設工事の進捗状況に関しましては、計画通りに進んでおります。

### 3. 現時点での計画概要

建設予定地：石川県能美市福島産業団地 土地区画整理事業施工地区内 5街区2

投資内容：用地 約65,329㎡

工事着工：2021年11月

竣工時期：2023年 1月（予定）

稼働時期：2023年 中旬（予定）

投資予定額：約229.7億円（予定） ※「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」の交付を受ける予定であり、残りの建設資金については自己資金及び銀行借入で賄う予定です。

高速道路のスマートインターチェンジや国道と隣接。

金沢港を利用した資材の入庫や、全国への配送に加え、既存施設との効率的な連携が可能。

先生と患者さんに喜ばれたい

Cjメディカル